

核兵器のない平和な世界を！ 『原水爆禁止2010年世界大会in広島』

今年、品川区・城南ドルフィン水泳サークルの五十嵐サブリナと小林風喜くんが参加しました。

五十嵐蒼太(高二)

僕は6年前に長崎の原水禁に参加したことがあるのですが、今回の広島への参加で、原爆の恐ろしさというものがより一層体感できたと思います。また今年、アメリカ・イギリス・フランスの政府代表が初めて平和記念式典に参加し、核廃絶運動の広まりが世界にも及んでいることがわかりました。

2日目は、「この島」へ行き、暑い中をかなり歩きました。そして被爆者の話を聞きました。次の日は、朝早く起きて平和記念式典を見に行きましたが、人が多くて見えませんでした。記念式典の後、グリーンアリーナへ集合。閉会式が終わり、原爆資料館に行きました。いろいろなものを見ましたが、その中に逃げる「ろう人形」があつて怖く感じました。

原爆が日本に落とされてから65年。多くの被爆者の方が亡くなり、今なお高齢化が続いています。被爆者の方に核兵器のない平和な世界をその目で見てもらうためにも、日本と他国が全力でこの問題の解決に努めなければなりません。世界はまだまだ動き出したばかりです。まわりへの呼びかけや署名運動への参加など、自分ができることはちっぽけかもしれませんが、そういう地道な努力がいつか実を結ぶのでは。切実にそう思っています。ノーモアヒバクシャ！

小林 風喜(小6)

新幹線で広島に行きました。4時間の間、写真をとったりゲームをしたりして過ごしました。広島に着いて昼食の後、グリーンアリーナで原水爆禁止2010世界大会があるので行きました。その後、平和記念公



豊支部納涼ビアパーティー

豊支部で、納涼ビアパーティー

豊支部では、今年も原水禁大会の報告会を兼ねて、納涼ビアパーティーを8月28日(土)に行いました。夕方、日が落ちるにつれて参加者が集まりだし、会場のゆたか診療所の通所リハビリ室に用意したテーブル・イスに

いっばいの58人が参加。まず、ゆたか診療所の吉岡先生があいさつ。連日、話題になっている高齢者の行方不明の問題にもふれながら、人のつながりが壊れつつあることを指摘され「このような時だからこそ、地域のつながりを大切にしまちづくりをしていきましょう」と呼びかけました。その後は乾杯して喉をうるおし、豊支部の役員の方々が用意してくれた料理に舌鼓を打ちながら談笑。

後半は、腹話術、マジック、講演などが披露され、とくに腹話術は好評でした。その後、リハビリ職員の指導で歌に合わせて遊びのような体操を参加者全員で行いました。暑い日が連日続く中でしたが、納涼感のある楽しいひとときを過ごし、みなさん、満足そうな笑顔で帰られました。

西品川反核フェスティバル

西品川支部は、8月の原水禁大会に派遣する代表の紹介と派遣資金づくりなどのために、毎年開催している反核フェスティバルを7月27日(火)に三ツ木診療



大会参加者の報告会も行いました

所の屋上で行いました。地域の患者さん、西品川支部の組合員、三ツ木グループの職員など50数人が参加。あまりに暑い日が続いて夏バテ気味なのか、参加者は例年より少なめ。

世界大会に参加する西品川支部運営委員メンバーの安藤泰作さん、5月のNPT再検討会議に参加した職員の前沢君があいさつ。出し物は踊りあり、マジックあり、ハワイアンありと多彩。参加者は、ビールで喉をうるおし、実行委員会が用意した料理をほろほろ、楽しんでいました。8月24日(金)には、三ツ木診療所の3階会議室で原水禁世界大会の報告会を行い、40人が参加し、恒例の三ツ木カレーを食べながら、世界大会の報告に耳を傾けました。

六郷支部では 納涼平和のつどい

7月20日(火) 原水禁大会の代表団に平和の想いを託す「納涼平和のつどい」を、共同組織である保健生協の支部と京浜診療所が一緒に行いました。三上師長手づくりのおいしいカレーとスイカを食べながら、元京浜診療所事務長の剣持さんの手品や、グループホームの綿貫所長の音頭での全員合唱などで盛り上がったあと、NPT再検討会

議の模様と核兵器廃絶をめぐる最近の状況について、城南保健生協常務理事で東京社保協事務局長の前沢淑子さんが自ら撮影した「いつでも元気7月号」の記事を使ってお話をしてくださり、学習もしました。

組合員と事業所職員の29人の参加でした。支部の組合員と事業所職員の交流もできて、組合員にとっては診療所を身近に感じる場となり、職員にとっても共同組織の大切さを実感できた。とても有意義なつどいでした。最後に代表として広島に行く新人の奥東三郎さんは「みなさんの平和への想いを託されて、しっかりと学んできます」と力強く決意表明しました。四郎丸事務局長は6・9行動や反核フェスティバルにも今後とくくみたいと決意を語っています。

大田反核フェスティバル

7月27日(火)、大田歯科・大森東クリニク駐車場が原水禁大会へ参加する代表を送り出すための「反核フェスティバル」を開催。世界大会に参加する代表の紹介を中心に原爆パネル展も行われ、また、大田病院をはじめ各職場からさまざまなお店が並び大盛況。大会に参加する大田病院と大田歯科からの計6人の代表は、7月に入ってから1ヶ月間毎週水曜日「原水爆禁止2010年世界大会」のテキストを使い学習会をしてきました。その中で、組合員のお宅に派遣のためカンパと核兵器廃絶へ向けた署名のお願いでまわりました。突然の訪問にもかかわらず署名・カンパにご協力いただきありがとうございました。

各地域で恒例の夏まつり!!

いりば大森夏祭り

7月25日(日)に恒例の「こらぼ大森夏祭り」が行われました。城南保健生協では、普段こらぼ大森で健康チェック班会をやっている大森西支部のみなさんが健康チェックのテントを出しました。お手伝いしてくださった組合員のみなさんは総勢18人。健康チェックは50件、大腸癌検査キットの販売は2個、新規加入は1世帯でした。また、ずずらん平和島の榎田所長が医療班としてまつり全体の実行委員会に協力しました。また、平和島訪問看護ステーションの亀田所長にもご協力いただきました。当日は猛暑の中、周辺の町会や開校小学校のPTA、消防団などさまざまな団体の模擬店や体育館ではスポーツ吹き矢などの体験コーナーもあり、舞台上では太極拳やテコンドーの演武やストリートミュージシャンの出演など盛りだくさんで盛況でした。

なかしんまつり

7月17日(土)なかしんまつりが開催されました。このまつりは、毎年11月に行う「なかしんバザー」の売り上げを地域の方々に還元しようということではじまり、今年で5回目です。会場は大森中診療所裏の公園。かき氷・ポップコーン・綿菓子が目玉で、また風船釣りやシャボン玉などもあつて、たくさんの子どもたちや道行く人たちが訪れてくれました。ちょうどこの日に梅雨が明けたこと

全国鶴の木まつり

毎年恒例の全国鶴の木まつりが7月24・25日に開催されました。このおまつりでは、全国の「鶴の木」という地名を持つ地域の方々が大田区の鶴の木に集まります。秋田県鹿鹿市の本場の「なまはげ」や各地の「鶴の木」からの物産展などが行われます。25日(日)に城南保健生協も、毎年恒例の「健康チェックコーナー」で参加。猛暑の中でしたが40人近い方々が訪れました。今年も救護所として、うのき診療所、うのき訪問看護STがまつりをバックアップしました。



親子でまつりに来てくれました

役員交代のご紹介

6月に第35回運営総代会が行われ、役員を選出について採択されました。新体制の下、「健康で安心して住みつけられるまちづくり運動」をすすめていきます。退任された役員のみなさま、本当にお疲れさまでした。そしてこれからもよろしくお祈りします。

- 退任理事**
(10人・敬称略・五十音順)
市川由・伊藤邦夫・江田とし子・金子ミサ子・後藤正明・白石芳枝・関根寛・中里由美子・吉田由紀・村田俊広
- 新任理事**
(11人・敬称略・五十音順)
榎田政代・亀田やすみ・齋藤礼子・笹尾邦昭・高橋恵美子・塚平憲和・波多野園恵・二村国太郎・星野弘子・渡辺峰人・綿貫有三子



こらぼ祭りで健康チェック